

令和5年度 山梨県ボランティア協会 事業報告書

■ 山梨県ボランティア協会法人運営事業

県ボランティア・NPOセンター運営事業と県ボランティア協会事業との融合を図りながら、中間支援組織としての存在意義を高め、持続可能な法人運営の取り組み強化を図りました。その状況は次のとおりでした。

I 法人運営会議

1 理事会	4回 ①4/26 ②5/13 ③11/27 ④3/28
2 監事会	1回 ①4/24
3 通常総会	1回 ①5/24

II 基盤強化事業

1 山梨県ボランティア協会・新ビジョンの策定

○県V協の推進目標及び県ボランティア・NPOセンター運営事業機能強化方策検討。

2 休眠預金活用事業

○「設立準備会」を立ち上げて取り組むことになりました。

3 SOMPO福祉財団助成活用事業

○機材購入 ○職員研修 ○動画を作成し情報発信を行いました。

III パートナースhip事業(連携協働)

1 第40回 全国ボランティア推進団体会議in山梨(通称:民ボラ)

○県ボランティア・NPOセンター開館45周年に因んで交流会プログラムも実施しました。

2 やまなし未来共創HUB会議

○令和5年度選考された団体の取り組み実践・中間報告・最終報告

3 中央ろうきん助成制度 ♫カナエルチカラ♡2024

○中央ろうきん本部にて、2022助成(3年目)を完了された団体が活動を報告した。

山梨からは、「みんなの街」理事長 室田泰文氏が実践報告。

○令和5年度山梨地方選考会にて3団体を本選考へ推薦いたしました。

4 第27回測量の日記念 ふれあいチャリティーグラウンドゴルフ大会

○4年ぶりの実施・・・準備万端でしたが台風のため中止・・・来年は必ず実施します。

5 「夢を生きる: 女性のための教育・訓練賞」応募者推薦

○2名の方の推薦を行いましたところ二人とも表彰されました。

6 日本政策金融公庫甲府支店

○起業に関する相談会への出席対応を図りました。

IV 委嘱・要請事業

1 関係機関・団体等委嘱要請への対応

○7つの委嘱を受けて委員会等への出席対応を図りました。理事対応。

2 後援名義要請への対応

○当協会への後援名義使用申請に伴い次のとおり承認対応を図りました。

V 寄付・寄贈対応事業(相談斡旋・連絡調整)

1 イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

団体名称 ザ・ビッグ甲斐敷島店 様

寄贈内容 32,600 円 レシート合計金額の1%

2 2023 令和5年度 ヴァンフォーレ甲府ホームゲーム チケット

団体名称 株式会社キトー 様

寄贈内容 各試合20枚 15試合分

3 富士急ハイランド利用チケット

団体名称 株式会社YMカンパニー 様

寄贈内容 100 枚

★ 実施内容 別添資料

■ 山梨県ボランティア・NPOセンター運営事業

山梨県補助金事業として令和4年4月から事業主体となり2年目となりました。
令和5年度山梨県ボランティア・NPOセンター運営事業の取り組み状況は次のとおりでした。

1 重点目標

- (1) 市町村・関係機関・企業と連携した、ボランティア・NPO活動の推進
市町村社会福祉協議会との協働事業の強化と、日本スポーツボランティアネットワークなど推進機関とも連携しながら事業展開しボランティア活動を推進していく。
また、圏域の中間支援組織として、NPO間の連携強化と人材育成を図っていく。
- (2) 青少年を中心としたボランティアの育成と交流機会の提供
教育機関と連携し、ボランティア活動への参加の機会を提供しボランティアの育成を図る。
また、ボランティア活動者間の交流の輪に、興味・関心のある者が参加できる機会をつくり、ボランティア活動への理解や参加促進を図っていく。
- (3) ボランティア・NPOセンターの機能充実
ボランティア・NPO法人等のイベントに積極的に出向いて情報を収集し、ホームページ情報を充実させ、センターの情報発信の強化を図る。
また、ボランティア活動に関する意識調査を行い、ボランティア・NPO活動振興に係る事業強化を図る。

2 実施事業

- (1) ボランティア・NPO情報の集積、発信、マッチング
 - 1 インターネットによる情報発信事業(やまなしNPO情報ネット)
 - 2 ボランティア・NPOボード運営事業
 - 3 マスメディアを活用した情報発信事業
 - 4 ボランティア・NPO相談窓口の開設
 - 5 ボランティア活動調査
- (2) ボランティアの育成
 - 6 福祉教育発信事業
 - 7 NPO活動推進事業
 - 8 ボランティア体験等事業
 - 9 スポーツボランティア育成事業
 - 10 ボランティアの育成・NPO学習パンフレット
- (3) ボランティア団体の基盤強化、ネットワークの促進
 - 11 ボランティアまちかどカフェ
 - 12 やまなしボランティア・NPOネットワーク交流会
 - 13 やまなしNPOフェスタ(県民の日記念行事)
 - 14 NPO法人設立相談会
 - 15 NPO支援専門家派遣による個別団体支援事業
 - 16 県内外関係機関とのネットワーク強化
- (4) 運営委員会
15名の運営委員を委嘱し、年3回開催。

3 実施内容 別添資料

■ 山梨県ボランティア協会法人運営事業

県ボランティア・NPOセンター運営事業と県ボランティア協会事業との融合を図りながら、中間支援組織としての存在意義を高め、持続可能な法人運営の取り組み強化を図りました。その状況は次のとおりでした。

I 法人運営会議

1 理事会

第1回	期日 会場 出席 内容	令和5年4月26日(水) 10:00～12:00 やまなし地域づくり交流センター 3階 センター事務所 12名 欠席5名 (1)理事・監事の任期满了に伴う対応について (2)通常総会提案事項について ①令和4年度事業報告書及び収支決算書(案)について ②理事・監事の選任(案)について ③令和5年度事業計画及び収支予算書(案)について
第2回	期日 会場 出席 内容	令和5年5月13日(土) 14:00～16:00 やまなし地域づくり交流センター 3階 センター事務所 9名 欠席3名 (1)理事・監事の選任(案)について (2)通常総会提案事項について ①令和3年度事業報告書及び収支決算書(案)について ②理事・監事の選任(案)について ③令和5年度事業計画及び収支予算書(案)について (3)総会の運営方法及び役割分担について
第3回	期日 会場 出席 内容	令和5年11月27日(月) 13:30～15:30 やまなし地域づくり交流センター 3階 センター事務所 14名 欠席5名 (1)令和5年度事業実施状況について (2)令和5年度収支決算状況について (3)山梨県ボランティア協会・新ビジョン(案)について (4)その他
第4回	期日 会場 出席 内容	令和6年3月28日(木) やまなし地域づくり交流センター 3階 センター事務所 名 欠席 名 (1)令和5年度事業報告書及び収支決算書について (2)令和6年度事業計画及び収支予算書(案)について

2 監事会

期日 会場 出席 内容	令和5年4月24日(月) 16:00～17:00 やまなし地域づくり交流センター 3階 センター事務所 2名 (1)令和4年度事業報告書及び収支決算書について (2)令和5年度事業計画及び収支予算書(案)について
----------------------	--

3 通常総会

期日 会場 出席 内容	令和5年5月24日(水) 13:30～15:30 やまなし地域づくり交流センター 4階 大会議室 本人27名 委任状31名 (1)令和4年度事業報告書及び収支決算書(案)について 監査報告 (2)理事・監事の選任(案)について (3)令和5年度事業計画書及び収支予算書(案)について
----------------------	---

Ⅱ 基盤強化事業

1 山梨県ボランティア協会・新ビジョンの策定

(1) 山梨県ボランティア協会ビジョン検討会議

- | | | |
|-----|----|--|
| 第1回 | 期日 | 令和5年6月15日(木) 16:30～18:00 |
| | 会場 | やまなし地域づくり交流センター3階 山梨県ボランティア・NPOセンター |
| | 出席 | 5名 田辺光正、土屋茂、上野直樹、名執義孝、渡辺裕一 |
| | 内容 | ①検討会議について
②現状における問題認識について
③検討日程について
④「ビジョン」概要について |
| 第2回 | 期日 | 令和5年10月9日(月) 13:00～15:00 |
| | 会場 | やまなし地域づくり交流センター3階 山梨県ボランティア・NPOセンター |
| | 出席 | 5名 田辺光正、土屋茂、上野直樹、名執義孝、渡辺裕一 |
| | 内容 | ①第1回検討会議及びその後の報告について
②山梨県ボランティア協会・新ビジョンについて(案)
③理事会の開催について |

(2) 正副会長会議

- | | | |
|-----|----|---|
| 第1回 | 期日 | 令和5年8月30日(水) 13:30～15:30 |
| | 会場 | やまなし地域づくり交流センター3階 山梨県ボランティア・NPOセンター |
| | 出席 | 田辺光正、土屋 茂、上野直樹 |
| | 内容 | ①山梨県ボランティア協会ビジョンづくりについて
②使命役割、取組目標、実施施策について
③休眠預金対応について
④その他 |
| 第2回 | 期日 | 令和5年10月19日(木) 9:00～10:30 |
| | 会場 | やまなし地域づくり交流センター3階 山梨県ボランティア・NPOセンター |
| | 出席 | 田辺光正会長、土屋 茂副会長、上野直樹副会長 |
| | 内容 | 県民生活課訪問対応について(内容と資料確認) |

(3) 県民生活課訪問

- | | |
|----|---|
| 期日 | 令和5年10月19日(木)11:00～12:00 |
| 会場 | 山梨県庁本館 2階 打合室 |
| 出席 | 対応者 金子哲也課長、古川清美課長補佐、保坂孝一主査
訪問者 田辺光正会長、土屋 茂副会長、上野直樹副会長 |
| 内容 | ①令和5年度山梨県ボランティア・NPOセンター運営状況について(報告)
②現状を踏まえての今後の取り組み計画について
③県ボランティア協会・新規事業への取り組みについて
★休眠預金等の受け皿づくりについて |

(4) 第3回理事会(再掲)

- | | |
|----|---|
| 期日 | 令和5年11月27日(月) 13:30～15:30 |
| 会場 | やまなし地域づくり交流センター 3階 センター事務所 |
| 出席 | 14名 欠席5名 |
| 内容 | ①山梨県ボランティア協会・新ビジョンについて
②休眠預金への対応について
上記ビジョンについて承認を得る。 |

2 休眠預金活用事業

(1)「休眠預金活用事業シンポジウム2023

～ともに創る未来・伴走支援から生まれる社会の変化と担い手の成長～

期日 令和5年11月16日(木) 13:30～15:30

会場 Zoom

出席 田辺光正

- 内容
- ①開会の挨拶 二宮雅也(JANPIA理事長)
 - ②基調講演藤沢久美(国際社会経済研究所(IISE) 理事長(JANPIA評議員))
 - ③トークセッション
 - ▲Part1 「地域支援と地域資源連携事業」を実施して(2019年度通常枠事業)
高橋潤(公益財団法人 長野みらい基金理事長)
木田敬貴(特定非営利活動法人いいだ人形劇センター事務局長)
モデレーター 清水潤子(武蔵野大学 人間科学部社会福祉学科助教)
 - ▲Part2 「休眠預金事業を通じて生まれた個と組織の成長」
三島理恵(認定特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事)
庄田清人(一般社団法人ちくご川コミュニティ財団 理事/事務局長)
 - コメンテーター 清水潤子(武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 助教)
 - 進行 和田泰一(JANPIA事業部長)
 - ④休眠預金活用事業のこれから
大川昌晴(JANPIA事務局長)
 - ⑤公募についてのご連絡

(2)コレクティブインパクトを生み出すローカルファンド創成事業&

ローカルファンドのつくり方セミナー

期日 令和5年11月22日(水) 10:00～15:00

会場 やまなし地域づくり交流センター1階 第1会議室

出席 田辺光正会長、名執義高理事、渡辺博紀理事

内容 第1部 公募事業説明会 10:00～12:00

- ①開会・趣旨説明
 - ②講演「休眠預金制度の概要と活用状況～民間公益活動の担い手づくり・すその拡大に向けて～」
休眠預金制度の概要や現時点での実績、また資金分配団体や実行団体の具体的な活用事例について説明。
登壇者 一般社団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA) ※オンラインでの登場
 - ③事例紹介「地域の資金循環を生み出し、地域の課題解決を促進する～長野みらい基金のケース～」
…地域の資金循環を行っている「コミュニティ財団」の具体的な取り組みについて
登壇者 公益財団法人長野県みらい基金 理事長 高橋 潤氏
 - ④公募説明「コレクティブインパクトを生み出すローカルファンド創成事業」
…地域の資金循環を生み出し、地域の課題解決を促進する資金仲介機能をつくり人材育成等をするための助成プログラムについて説明。
説明 一般社団法人全国コミュニティ財団協会 事務局長 石本貴之
 - ⑤公募説明に対する質疑応答
 - ⑥第1部閉会・休憩
- 第2部 13:00～14:00
ローカルファンドのつくり方セミナー
コレクティブインパクト的なローカルファンドづくり～分析フェーズを踏まえ他事業計画策定のポイント～
本事業の計画策定にあたって、コレクティブインパクトの視点から事業構築方法
- 第3部 14:00～15:00
個別相談会
山梨県ボランティア協会取り組むにあたっての留意点などを確認

(3)関係者による話し合い取り組み経過と結果

名称 三者協議
期日 令和5年12月21日(木) 10:00～12:00
会場 公益財団法人山梨総合研究所 6階 会議室
出席 佐藤文昭 公益財団法人山梨総合研究所 調査研究部長
宇佐美淳 公益財団法人山梨総合研究所 調査研究部員
青木直子 認定特別非営利活動法人富士山クラブ プログラムオフィサー
田辺光正 特定非営利活動法人山梨県ボランティア協会会長
内容 .○三者によるコンソーシアムを組んでの対応を図ることについて
基本的には三者によるコンソーシアムを組んでの方向ど取り組むことを確認。
一方、「設立準備型」での取り組みも選択肢として残す方向で取り組むことを確認。
○申請書類の作成について
2月8日までに申請するため、短時間での書類作成となる。
宇佐美氏に作成してもらい、三者で確認・協議する方向となる。
○担当者による話し合いについて
宇佐美氏と渡辺県V協理事との話し合いを行うことを確認。

名称 担当者協議
期日 令和5年12月21日(木) 10:00～12:00
会場 やまなし地域づくり交流センター3階 県V協事務所
出席 宇佐美淳 公益財団法人山梨総合研究所 調査研究部員
渡辺博紀 山梨県ボランティア協会 理事
新井 円 特定非営利活動法人イエカラ 代表理事
内容 申請書類作成に伴う基本的な対応方針等について意見交換

名称 三者協議
期日 令和6年2月1日(木) 9:00～11:30
会場 公益財団法人山梨総合研究所 6階 会議室
出席 佐藤文昭 公益財団法人山梨総合研究所 調査研究部長
宇佐美淳 公益財団法人山梨総合研究所 調査研究部員
青木直子 認定特別非営利活動法人富士山クラブ プログラムオフィサー
田辺光正 特定非営利活動法人山梨県ボランティア協会会長
内容 コミュニティ財団申請に関する打合せ
1 「設立準備会」を立ち上げていくことを決定。
三者によるコンソーシアムを組んでの対応ではないことを確認。
2 申請するにあたり必要な事項について
①設立準備会について
事務所について
②賛同団体(協力できる役割)について
③アドバイザーリーボードについて
④取り組むテーマについて

名称 申請書類の提出
期日 令和6年2月8日(木)
確認 宇佐美氏からメールにて申請書類の提示を受けて確認を行う。
内容 申請書類・内容は別途

名称 その後の状況
一次審査通過

3 SOMPO福祉財団助成活用事業

(1) 助成申請・結果

2022年 令和4年9月30日 組織及び事業活動の強化資金助成(申請)

2022年 令和4年12月7日 決定通知 70万円

2023年 令和5年1月13日 贈呈式 損保ジャパン様より

(2) 業務委託契約

2023年 令和5年 4月11日 マイセンド株式会社

動画セミナー計画書に基づき職員基礎研修・動画作成に伴う業務

(3) 活動取組状況

□ 機材購入

令和5年3月～4月

カメラ、ピンマイク、SDカード、USBハブ、ライト、パソコン、三脚

□ 職員基礎研修

令和5年4月～6月 やまなし地域づくり交流センター階 山梨県ボランティア・NPOセンター

講師 小川拓人 マイセンド株式会社代表取締役 受講職員 駒井美智子、土屋咲貴

1回 令和5年4月25日(火) 13:30～15:00

Macbook 初期設定 PC の使用方法、
4Kカメラ等物的確認・不足機材の購入

2回 令和5年5月16日(火) 13:30～15:00

Macbook 初期設定
民ボラプログラムの確認

3回 令和5年5月23日(火) 13:30～15:00

機材の使い方

4回 令和5年5月30日(火) 13:30～15:00

機材の使い方

5回 令和5年6月6日(火) 13:30～15:00

機材の使い方

著作権について(BGM、フォント)、肖像権について、

動画編集実技

6回 令和5年6月20日(火) 13:30～15:00

BGMの追加と編集、民ボラ打ち合わせ

□ 動画作成・情報配信

令和5年7月22日(土)～23日(日) 第40回全国ボランタリズム推進団体会議

動画1 オープニング・全体会 「対話」と「自治」

動画2 セッション1 平和構築

動画3 セッション2 市民と選挙

動画4 セッション3 若者・学生

動画5 セッション4 子ども・子育て

動画6 クロージング・全体会 平和と公共を築く

動画7 いくつか会活動動画

動画8 山梨県ボランティア協会CM動画

□ 変更申請及びNPO基盤強化実施報告書(中間報告)

2023年 令和5年10月26日 公益財団法人SOMPO福祉財団

(1) 申請状況に一部変更が生じたので変更申請手続きを行う。

(2) 取り組み状況についての中間報告を行なう。様式に基づき。

□ NPO基盤強化事業実績報告(最終)

2024年 令和6年3月22日 公益財団法人SOMPO福祉財団

Ⅲ パートナーシップ事業(連携協働)

1 第40回 全国ボランティア推進団体会議in山梨(通称:民ボラ)

期 日 2023年 令和5年7月22日(土) 23日(日)

会 場 やまなし地域づくり交流センター

参加者 73名 茨城県 栃木県 宮城県 千葉県 静岡県 大阪府
1 5 1 2 2 6
兵庫県 三重県 沖縄県 東京都 山梨県
1 1 1 18 35

7/22(土)	プログラム	会場	Zoom	合計	アーカイブ
	全体会 「対話」と「自治」	44	9	53	5
	セッション1 平和構築	19	6	25	4
	セッション2 市民と選挙	21	5	26	4
	交流会 センター開館45周年	40	0	40	-
7/23(日)	プログラム	会場	Zoom	合計	アーカイブ
	セッション3 若者・学生	23	3	26	6
	セッション4 子ども・子育て	19	5	24	3
	全体会 平和と公共を築く市民活動	47	6	53	7

主 催 ボランティア推進団体会議(13団体)

茨城NPOセンター・コモンズ/大阪ボランティア協会/静岡県ボランティア協会
JUON NETWORK (樹恩ネットワーク) / 市民活動センター神戸/世田谷ボランティア協会
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ/東京ボランティア・市民活動センター
東京メディエーションセンター/とちぎボランティアネットワーク/富士福祉事業団
ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし/山梨県ボランティア協会

テーマ 大丈夫か日本!?～平和と公共を築く市民活動～

(1)オープニング全体会 テーマ「対話」と「自治」

登壇者 谷山博史さん「台湾有事」を起こさせない沖縄対話プロジェクト 呼掛人

内田聖子さん「(特非) アジア太平洋資料センター(PARC) 共同代表

司会 早瀬 昇さん(福)大阪ボランティア協会 理事長

(2)テーマ別セッション

セッション① 平和構築

戦争を起こさせないために市民活動と支援機関は何ができるのか?

～軍事力増強ではない市民の「解」は～

セッション② 市民と選挙

市民主体の地方自治～市民による選挙はどう進められたのか?～

セッション③ 若者・学生

ボランティアが生み出す社会的効果と影響

～我々未来社会の構成員に託された役割と使命について考える～

セッション④ 子ども・子育て

プレーパークや地域の取組みから学ぶ 市民主体でつくる子どもの未来

～子どもを取り巻く課題解決に市民はどう関わっていけばよいのか～

(3)交流のためのワークショップ

山梨県ボランティア・NPOセンター開館45周年～感謝と未来への集い～

○オープニング 山梨県ボランティア協会45周年・5ケ年の歩み～動画による振り返り～

○感謝と未来への集い ①「いつか会」グループに感謝状を贈呈する

② 参加者が作成した「未来へのメッセージ」を代表者に発表してもらう

③参加者同士の交流を図る

(4)クロージング全体会 平和と公共を築く市民活動～どう進めるか?何が大切か?～

「市民活動を支える中間支援のあり方を問う」

①各セッション報告

②民ボラを通しての気づきから～これからの市民活動を推進するために大切なことは何か～

③中間支援への期待を一言

コーディネーター 渡辺裕一さん

山梨県ボランティア・NPOセンター運営委員会委員長、武蔵野大学教授

2 やまなし未来共創HUB会議

- 主催 公益財団法人山梨総合研究所
- 第1回
- 期日 令和5年4月14日(金) 16:00～16:23
- 会場 書面表決のためメールにて回答
- 出席 田辺出席
- 内容 (1) 令和5年度未来共創HUBの参加者募集要項(案)について承認の旨を回答。
- 第2回
- 期日 令和5年8月23日(水) 14:30～16:00
- 会場 やまなし地域づくり交流センター4階 会議室
- 出席 田辺出席
- 内容 (1) 採択事業の審査・決定
① 採点結果の説明
② 意見交換、採択事業の審査
③ 採択事業の決定
(2) 今年度のやまなし未来共創HUBプロジェクトのスケジュールについて
- 第3回
- 期日 令和5年12月15日(15) 14:30～16:00
- 会場 メール審議 (面談での開催はなし)
- 内容 アドバイザーを交えて総研職員と採択者でミーティングを実施
そこででた現状や意見・相談したい事項等を総研で整理したものをメールで各メンバーに送付。メンバーは令和6年1月12日までに意見などを総研に返信する。田辺、意見書を提出。
- 第4回
- 期日 令和6年2月22日(木) 9:30～11:30
- 会場 自治会館 研修室1
- 出席 田辺欠席
- 内容 (1) 採択者による実践報告(最終)
(2) 委員メンバーからの質疑・意見交換
(3) 今後の事業対応について

3 中央ろうきん助成制度「カナエルチカラ」2024

- 主催 中央労働金庫
- (1) 中央ろうきん助成制度【カナエルチカラ】2023贈呈式
- 期日 令和5年5月26日(金) 13:00～16:00
- 会場 中央労働金庫本店ビル8階会議室
- 出席 50名
- 内容 ① 記念品の贈呈
② 助成団体よりご挨拶(各団体1分程度)
③ 2022助成(3年目)を完了された団体より活動報告,
山梨からは、「みんなの街」理事長 室田泰文氏が実践報告。
④ 参加者交流会
- (2) 地域NPO支援組織として「山梨県ボランティア協会」選考委員委嘱
- 任期 令和5年11月～令和6年3月
- 作業 書類選考作業 2023年11月13日(月)～2023年11月24日(金)
- 委員会 山梨選考委員会 2023年11月下旬～2023年12月上旬
- (3) 山梨選考委員会
- 期日 令和5年11月30日(木) 15:00～17:00
- 会場 中央労働金庫山梨県支部
- 出席 5名 委員
- 内容 山梨から応募申請のあった3団体の書類選考を踏まえ
本選考に進む団体の審議を行う。

4 第27回測量の日記念 ふれあいチャリティーグラウンドゴルフ大会

4年ぶりの取り組み・・・準備万端でしたが台風のため中止・・・来年は必ず実施します。

主催 一般社団法人山梨県測量設計業協会
共催 山梨県ボランティア協会
期日 令和5年6月3日(土)
会場 小瀬スポーツ公園「球技場」
出席 96名 48名 県測量設計業協会
48名 県ボラ協会
内容 台風の為中止

5 「夢を生きる: 女性のための教育・訓練賞」応募者推薦

お二人の方を推薦させて頂きましたところ、厳正なる審査を得て受賞されました。

主催 国際ソロプチミスト山梨
推薦 山梨県ボランティア協会
概要 国際ソロプチミストは女性による世界組織のボランティア団体です。
国連発足当初からNGOとして参加し、世界132の国と地域で3000の
クラブ8万人の会員が女性と女児の生活向上を目指して活動としています。
ソロプチミストの「夢を生きる: 女性のための教育・訓練賞」は、生活水準
を向上させるために必要な技術訓練や教育を得ようとしている女性を支援
するソロプチミストの主要プログラムです。
令和5年度2名のシングルマザーを候補者として推薦した。
次の2名が表彰されました。
お二人より「受賞は励みであり、人生の糧」となるとお言葉をいただきました。

M 様 連盟リジヨ(ソロプチミスト アメリカ連盟より表彰)
准看護師から正看護師を目指し、甲府看護専門学校で教育中
知的障害のある18歳の長男、小学校2年の長女を育てるシングルマザー
K 様 日本東リジ(ソロプチミスト 日本東リジョンより表彰)
非正規雇用から正規雇用を目指し、甲府商科専門学校で訓練中
小学校6年長女、小学校4年長男を育てるシングルマザー

経過 候補者推薦・応募・選考
夏～秋 ①候補者探し
②応募書類作成
候補者のこれまでの人生の作文1500文字、職業上の目標作文600文字
③家計に関する報告
④推薦状作成
県V協2名の方の推薦書を作成(会長、副会長)
R5.11.15 クラブ賞決定
R5.12.20 日本東リジョン応募締切
R6.02.05 国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョン賞受賞者決定
社会学者であり東京大学名誉教授 上野千鶴子先生、元国連難民高等
弁務官事務所財務局長であり東洋英和女学院名誉教授滝嶋三郎先生が
外部審査員となり、厳正なる選考が行われました。
R6.03.15 K 様 国際ソロプチミスト山梨一南クラブ「クラブ賞贈呈式」
○クラブ賞表彰状 ○ガバナー感謝状 ○金5万円贈呈
R6.03.18 M 様 国際ソロプチミスト山梨一「クラブ賞贈呈式」
○クラブ賞表彰状 ○ガバナー感謝状 ○金5万円贈呈
R6.04.21 国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョン大会(ホテルニューオータニ)
夢を生きる表彰式 2024年3月末時点予定
M 様 連盟リジョン賞
○連盟リジョン賞表彰状 ○賞金3000ドル贈呈 ○受賞スピーチ(3分)
○ガバナー、山梨クラブ会長らと舞台上で記念撮影
K 様 東リジョン賞
○東リジョン賞表彰状 ○賞金20万円贈呈
○ガバナー、山梨一南クラブ会長らと舞台上で記念撮影

6 日本政策金融公庫甲府支店

主催 日本政策金融公庫甲府支店
期日 令和5年10月25日(水) 午後3時～4時
会場 やまなし地域づくり交流センター 1階 会議室
相談者 1名
対応者 7名 日本政策金融公庫 甲府支店 国民生活事業 融資第二課長
日本政策金融公庫 甲府支店 国民生活事業 担当
山梨信用保証協会 営業部 副長
山梨信用保証協会 営業部 副部長
山梨県司法書士会
山梨県ボランティア協会
内容 起業に関する相談について意見交換を行った。

IV 委嘱・要請事業

1 関係機関・団体等委嘱要請への対応

当協会理事が委嘱を受けて対応している委員会等への出席対応を図りました。

- ① 山梨県ボランティア・NPOセンター運営委員会 委員
- ② 環境パートナーシップやまなし 委員
- ③ 山梨県障害者福祉ふれあい会議 理事
- ④ 公益財団法人山梨みどり奨学会 理事
- ⑤ 公益財団法人長田ふるさと財団運営委員会 委員
- ⑥ 公益財団法人鈴木助成事業財団 評議員
- ⑦ 中央ろうきん助成制度 “カナエルチカラ” 選考委員

2 後援名義要請への対応

当協会への後援名義使用申請に伴い次のとおり承認対応を図りました。

- ① 4月20日 第25回 山梨YMCAインターナショナル・チャリティーライン2023
第25回 山梨YMCAチャリティーライン実行委員会
- ② 4月27日 第50回 ジャンボひまわりのつどい
社会福祉法人山梨県障害者福祉協会
- ③ 6月7日 第69回 白い杖愛護運動月間
社会福祉法人山梨ライトハウス
- ④ 6月20日 第26回 山梨県障害者文化展
社会福祉法人山梨県障害者福祉協会
- ⑤ 8月1日 第18回 やまなし留学生スピーチコンテスト
やまなし留学生スピーチコンテスト実行委員会
- ⑥ 8月15日 第15回 笛吹市社会福祉大会
社会福祉法人笛吹市社会福祉協議会
- ⑦ 9月26日 第42回 山梨県綱引選手権大会・山梨県ジュニア・ユース綱引き大会
山梨県綱引連盟
- ⑧ 10月19日 第3回 山梨県BOCCIA CUPT IN KOFU = BOCCIA フェスタ共生社会
を目指して=
山梨県ボッチャ協会
- ⑨ 11月7日 第43回 山の都ふれあいコンサート
山の都ふれあいコンサート実行委員会

V 寄付・寄贈対応事業（相談斡旋・連絡調整）

1 イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

団体名称 ザ・ビッグ甲斐敷島店

寄贈内容 32,600 円 レシート合計金額の1%

実施期間 2022年(令和4年)3月 ~ 2023年(令和5年)2月

活動報告 富士川河口クリーン作戦、第40回全国ボランタリズム推進団体会議in山梨
令和5年度秋巡業大相撲甲府場所、第3回福祉教育推進講義
青少年安全対策イベントONE TO ALL

対応経緯

- ①活動内容報告書の提出 令和5年4月20日(木)
- ②イオンギフトカードお渡し 令和5年4月25日(火) 10:00 ~ 15:00
寄贈金額 32,600
- ③商品との交換期間 令和5年4月29日(土) 10:00 ~ 15:00
- ④ご利用記録用紙の提出 令和5年4月29日(土)
- ⑤次年度団体登録申込書の提出 令和5年4月20日(木)

2023年(令和5年)3月 ~ 2024年(令和6年)2月

2024年度 登録団体募集

お申し込み期間 2023年(令和5年)12月29日(金) ~ 2024年(令和6年)1月19日(金)

- お申込み方法
- ①団体募集要項(様式1)
 - ②団体登録申込書(様式2)
 - ③活動報告書(様式3)
 - ④活動計画書(様式4)
 - ⑤団体状況書類
定款、役員名簿、収支報告書

運用ルール変更点

- ②応募期間
2024年(令和6年)3月11日 ~ 2025年(令和7年)2月11日(通年)
- ③助成先団体基準の遵守
「行政、営利、政治・宗教団体でない。また、団体代表者、責任者の連絡先が、会社、政治・宗教施設でないこと」を確認させていただきます。詳細は募集要項(様式1)
- ④複数店舗登録の廃止
1団体・1店舗

2 2023 令和5年度 ヴァンフォーレ甲府ホームゲーム チケット

団体名称 株式会社キトー

寄贈内容 各試合20枚

試合日 11試合 4月16日 4月22日 5月3日 5月13日 5月27日 6月11日
6月24日 7月5日 7月16日 8月6日 8月19日

2024 明治安田生命 J2リーグヴァンフォーレ甲府チケット

試合日 4試合 3月9日 3月20日 3月30日 4月7日

対応状況 児童養護施設、県母子寡婦福祉連合会、障がい福祉施設等に希望調査を実施
必要希望数に応じて配布

3 富士急ハイランド利用チケット

団体名称 株式会社YMカンパニー

寄贈内容 100枚

利用期間 2023年 令和5年9月12日(火)

対応状況 第3回 GO TO PRK in FUJIKI
令和5年9月23日(土) 8:00~17:00
県内在住の母子世帯26名、学生ボランティア3名
富士急ハイランドにて参加者のふれあい交流を図りました。